



インフルエンザ油断は禁物 しっかり手洗い、咳エチケット

平成 31 年 2 月 6 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

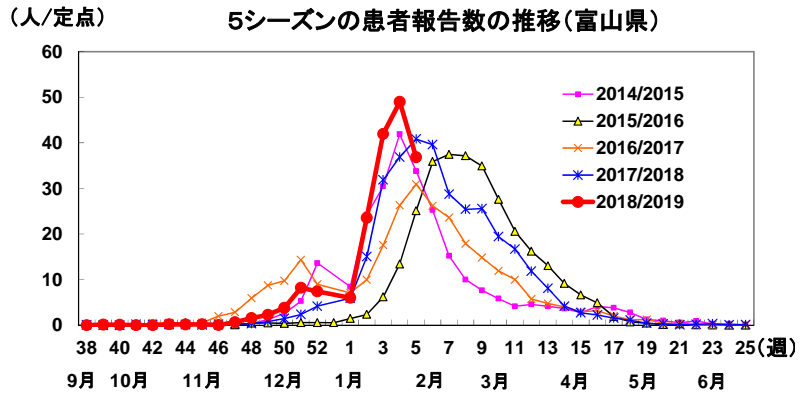
感染症発生動向速報

(平成 31 年第 5 週分・1 月 28 日～2 月 3 日)

《 インフォメーション 》

●インフルエンザ

今週、県内のインフルエンザ報告数が定点医療機関あたり 36.83 人となり、先週 (48.98) から減少しました。しかし、警報レベルの目安である定点医療機関あたり 30 人を超えており、今後しばらくは報告数の多い状態が続くと思われます (図参照)。



インフルエンザにより学級閉鎖等の措置をとった施設数は 2 月 6 日現在、154 施設 (保育所・幼稚園 10、小学校 119、中学校 16、その他 9) になりました。

全国のインフルエンザウイルスの検出状況は 2 月 5 日現在、AH1pdm09 が 973 件 (60.9%)、AH3 (香港型) が 604 件 (37.8%)、B 型が 22 件 (1.4%) となっています。県内では、AH1pdm09 が 33 件、AH3 (香港型) が 21 件、B 型が 1 件検出されています。

次のことに注意して感染予防等に努めてください。

- インフルエンザ対策の基本は「手洗い・咳エチケット」
- 発熱等の症状がある場合は無理をせず、登園や登校、出勤を自粛
- 急な発熱やせき等の症状がある場合は、早めに医療機関を受診
- 抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無にかかわらず、異常行動に注意 (治療開始後少なくとも 2 日間は小児・未成年者を一人にしない)

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 4 件 (①70 歳代、男性 ②70 歳代、女性
③80 歳代、女性 ④90 歳代、女性)

五類感染症 アメーバ赤痢 1 件 (50 歳代、男性、腸管アメーバ症)
急性脳炎 1 件 (第 4 週診断分: 10 歳未満、男性)
梅毒 1 件 (30 歳代、男性、早期顕症梅毒 I 期)
播種性クリプトコックス症 1 件 (80 歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	インフルエンザ	36.83 (↓)	48.98
2 位	感染性胃腸炎	8.00 (↓)	8.86
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.52 (↓)	2.07
4 位	咽頭結膜熱	0.69 (↑)	0.59
	伝染性紅斑	0.69 (↑)	0.59
6 位	突発性発しん	0.52 (↑)	0.17

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成31年第5週 平成31年1月28日～平成31年2月3日）

分類	疾患	今週報告分（第5週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			2	2		4	1		4	3	6	14
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1				1
四類感染症	A型肝炎							1					1
	レジオネラ症											3	3
五類感染症	アメーバ赤痢					1	1					1	1
	急性脳炎											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1		2
	侵襲性肺炎球菌感染症									2	2	1	5
	梅毒					1	1			1		2	3
	播種性クリプトコックス症					1	1					1	1
	百日咳											1	1
	風しん									1		2	3
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	212 30.29	203 40.60	458 35.23	273 39.00	622 38.88	1,768 36.83	947	665	2,309	1,191	2,437	7,549
	RSウイルス感染症		7 2.33	4 0.50		2 0.20	13 0.45	4	14	23	3	18	62
	咽頭結膜熱	4 1.00		6 0.75	2 0.50	8 0.80	20 0.69	19		29	12	17	77
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 1.00	3 1.00	15 1.88	9 2.25	13 1.30	44 1.52	17	24	44	26	85	196
	感染性胃腸炎	37 9.25	21 7.00	29 3.63	29 7.25	116 11.60	232 8.00	183	124	168	85	427	987
	水痘			1 0.13	1 0.25	6 0.60	8 0.28	1	4	5	7	44	61
	手足口病			2 0.25		3 0.30	5 0.17	4		8	2	34	48
	伝染性紅斑	2 0.50		11 1.38	3 0.75	4 0.40	20 0.69	2	1	28	29	17	77
	突発性発しん	1 0.25	2 0.67	4 0.50		8 0.80	15 0.52	4	5	12	6	17	44
	ヘルパンギーナ	4 1.00					4	10					10
	流行性耳下腺炎										1	2	3
	流行性角結膜炎	1 1.00	1 1.00			1 0.50	3 0.43	1	4	6	2	2	15
	マイコプラズマ肺炎								1	1			2
	インフルエンザによる入院患者（*）	7	1	5	15	14	42	26	20	40	58	57	201

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

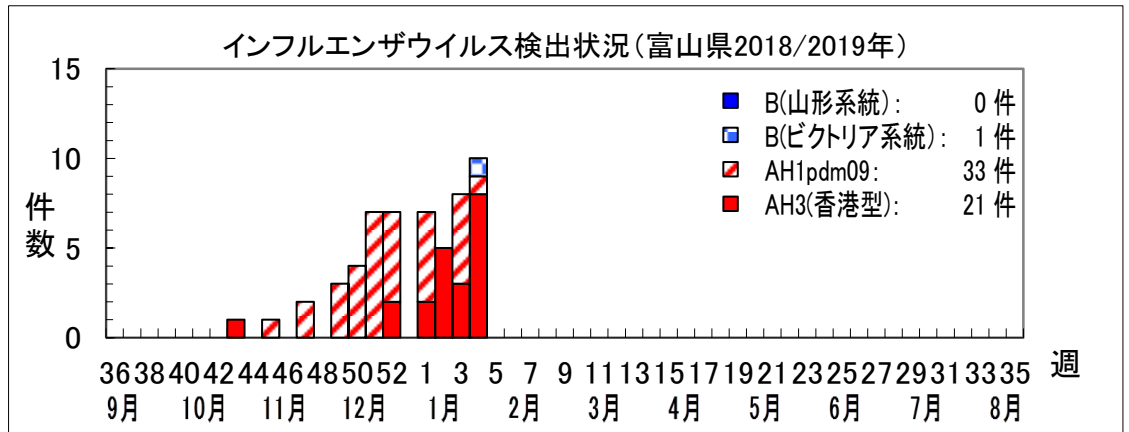
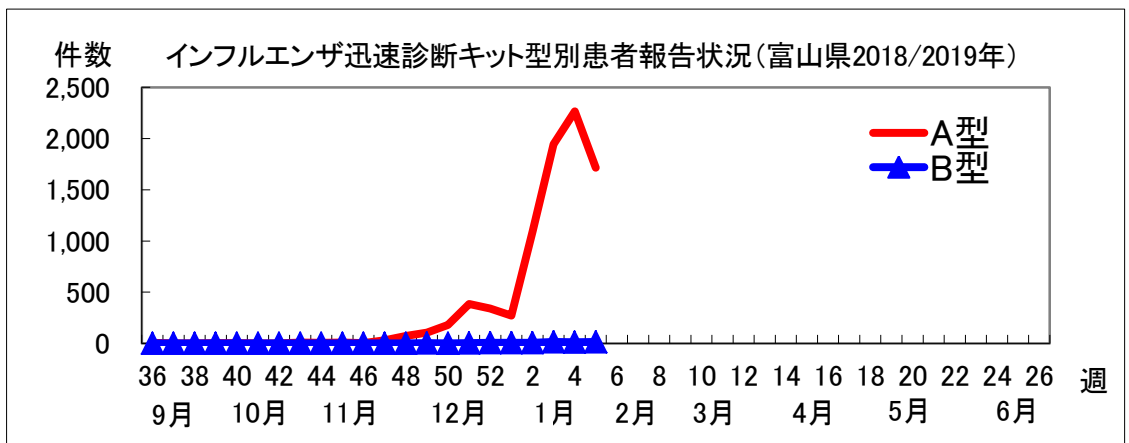
現在、下の表によると、A型が97.1%となっています。

第5週(1/28~2/3)：富山県 36.83人/定点

(単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	203	1	8	212
中部	5 / 5	198	3	2	203
高岡	13 / 13	445	4	9	458
砺波	7 / 7	271	0	2	273
富山市	16 / 16	599	6	17	622
富山県	48 / 48 ^{※1}	1,716	14	38	1,768
富山県累計(2018年36週~)		8,444	61	233	8,738

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が48か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





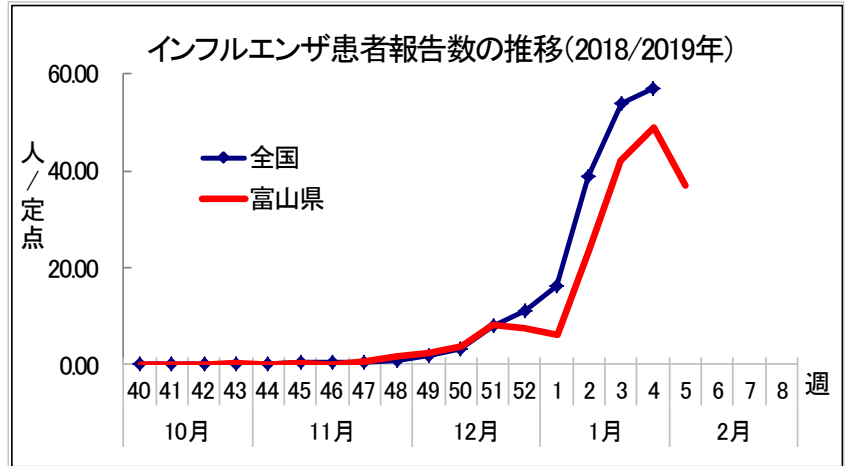
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第5週 (1/28~2/3) : 富山県 36.83 人/定点

新川 HC (30.29)、中部 HC (40.60)、高岡 HC (35.23)、砺波 HC (39.00)、富山市 HC (38.88)

県内は第3週から警報の目安である定点医療機関あたり 30 人を超えています。

今後、しばらくは流行が継続することが予想されます

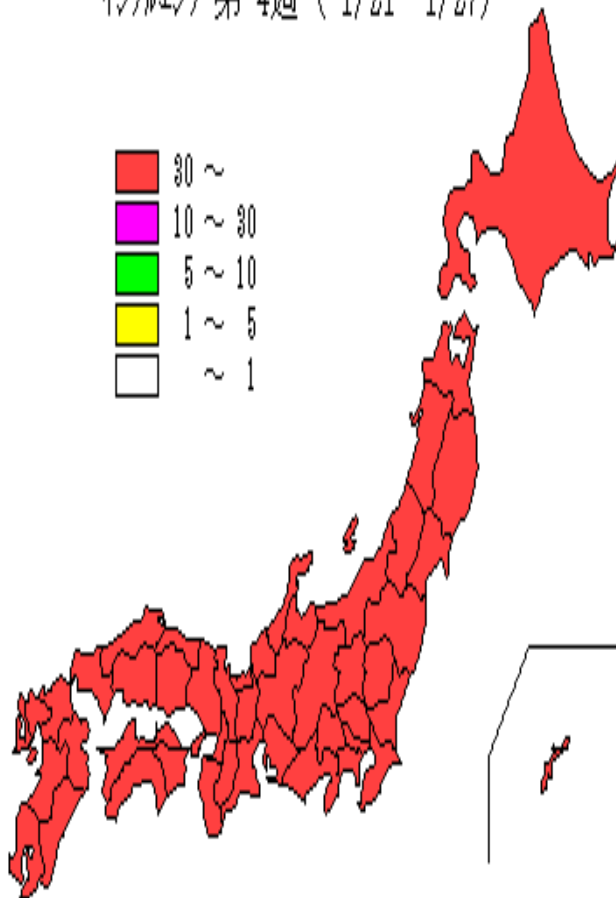


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第4週 (1/21~1/27)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 57.09 人となり、前週の 54.00 人より増加しました。

31 都道府県で前週より増加しています。16 府県で前週より減少しています。

インフル第4週 (1/21-1/27)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	36.41	滋賀県	45.44
青森県	37.38	京都府	50.44
岩手県	47.11	大阪府	47.99
宮城県	69.81	兵庫県	52.91
秋田県	46.85	奈良県	41.51
山形県	51.07	和歌山県	38.24
福島県	63.19	鳥取県	44.31
茨城県	61.88	島根県	33.79
栃木県	67.00	岡山県	47.56
群馬県	58.02	広島県	43.67
埼玉県	84.09	山口県	48.28
千葉県	73.00	徳島県	42.57
東京都	64.18	香川県	41.89
神奈川県	67.94	愛媛県	39.23
新潟県	77.70	高知県	51.02
富山県	48.98	福岡県	62.70
石川県	63.96	佐賀県	49.31
福井県	56.83	長崎県	55.71
山梨県	53.44	熊本県	47.89
長野県	64.72	大分県	65.45
岐阜県	42.94	宮崎県	55.34
静岡県	55.73	鹿児島県	51.36
愛知県	61.82	沖縄県	49.09
三重県	50.69	全国	57.09